

物通路は適当に配置されかつ舗装されることが望ましい。貨物駅の一般の舗装は困難であるにしても貨物積卸場および積卸線の付近は少なくとも舗装されることが望ましい。貨物駅内における小運送機関の交通は相互にその交通を支障しないよう一方交通とすることが必要である。都心付近にある貨物駅では駅と道路との関係が必ずしも良好でなく、ためにその出入に時間のかかる場合があるが、この改良は非常に困難なことが多いので貨物駅の位置は関係道路との便を考慮して決定されることが望

ましい。貨物駅はまた臨港地帯に多く設置され臨港線・専用側線の敷設、荷役機械の完備により、整備した一大貨物集散中継地区を形造ることが多い。

国鉄には現在(昭和32・3末)121の貨物駅がある。→駅。駅本屋。(森 悌寿・森垣常夫)

かもつがかり 貨物掛 駅におかれる職で駅長の指揮をうけて駅手、荷扱手、荷役機械を取扱う諸掛掛、貨物関係の請負人を指導して小口扱・車扱等の貨物の取扱に従事するものである。

[illegible]

新鶴見操車場を中心とする

## 京 浜 地 帯 線 路 図

